

名称	会期	開催国・都市	規模(2016年実績)
IMEX	2017年 5月16日(火)～18日(木)	ドイツ フランクフルト	招待バイヤー:3,977名 来場者:8,932名 出展者:3,500団体
IMEX AMERICA	2017年 10月10日(火)～12日(木)	米国 ラスベガス	招待バイヤー:3,216名 来場者:12,227名 出展者:3,250団体
ITB Asia	2017年 10月25日(水)～27日(金)	シンガポール	招待バイヤー:895名 来場者:10,876名 出展者:846団体
IBTM WORLD (EIBTM)	2017年 11月28日(火)～30日(木)	スペイン バルセロナ	招待バイヤー:3,239名 来場者:14,853名 出展者:2,329団体
AIME	2018年 2月20日(火)～21日(木)	オーストラリア メルボルン	招待バイヤー:488名 来場者:3,102名 出展者:617団体

## 国際会議誘致・開催貢献賞

名称	平成29年度「日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞」 JNTO Best International Convention Awards 2017
目的	創意工夫により競争を勝ち抜いて誘致に成功した国際会議、及び、優れた運営や地域社会・経済の発展への貢献等で開催に成功した国際会議について、その功績と努力を称える。
対象	平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）に誘致決定、または開催が終了した国際会議
部門	<b>誘致の部</b> 立候補における効果的なPR等により、諸外国との競争の結果、わが国への誘致に成功した会議
	<b>開催の部</b> 開催にあたり運営、地域貢献等において開催に成功し、今後の模範となる会議
募集期間	2017年6月26日（月）～8月4日（金）
推薦者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際会議観光都市の観光コンベンション主管部長もしくは、その都市のコンベンション推進機関の事務局長</li> <li>・JCCB、JCMA会員の代表者</li> </ul>
表彰式	2018年2月28日（水）10:00～12:00（予定）：京王プラザホテル（新宿） 「第27回 国際MICEエキスポ（IME2018）」開催日に開催

## 国際会議開催の部 受賞会議

会議名	21st International Conference on Computing in High Energy and Nuclear Physics (CHEP2015)		
主催者	CHEP2015現地組織委員会		
開催都市	沖縄県(恩納村)		
開催期間	2015年4月13日～17日		
参加人数 (うち外国人参加者)	502名(388名)	参加国数	28カ国・地域
受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場ごとの会議状況が映像で、どの場所からも確認できるビデオシステムなどICT(Information and Communication Technology)を導入し、限られた部屋数の大学施設を効率的に活用した。</li> <li>・ネームタグにホテルと会場を結ぶ送迎バスの時刻表、会場の地図等参加者に必要な情報をまとめ、参加者の利便性を高めた。</li> <li>・会議後の懇親会では琉球舞踊やミス沖縄派遣、最後には全員参加でカチャーシーを踊り沖縄らしさを演出し、地域の魅力の海外発信に貢献した。</li> </ul>		

# 沖縄でのMICE開催事例

## MICEの開催

アジア最大の航空業界専門の見本市・商談会、日本で初開催！

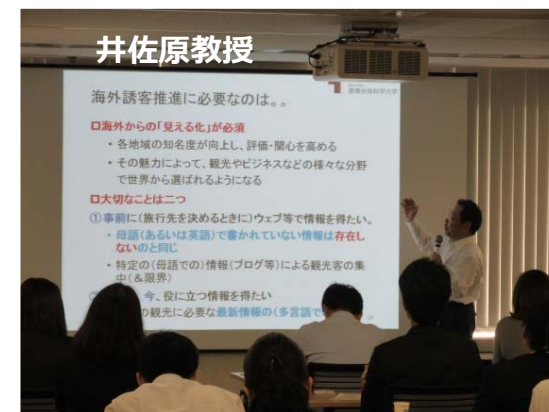
名称	ルーツ・アジア 2017 Routes・Asia 2017 
会場	宜野湾市・沖縄コンベンションセンター
開催期間	2017年3月19日～21日
参加者	世界各国の航空会社約200社、空港会社約300社 航空路線決定者や観光開発の担当者
誘致活動	平成26年9月：沖縄県より誘致活動協力要請 平成26年9月：World Routes2014Chicago でのロビー活動（OCVB・JNTO） 平成26年10月：国際本部による沖縄・東京視察 （JNTO幹部との面談） 平成27年3月：Routes・Asia 2015昆明での ロビー活動（OCVB・JNTO） 平成27年3月：沖縄開催が決定



# MICE人材の育成事業

## MICEセミナー <初級者対象>

概要	日本のMICEの概要、国際会議の誘致・セールス活動手法、インセンティブの基礎を学び、併せて、参加者間の意見交換を行なうことにより、今後のMICE事業推進に活用する
対象	国際会議観光都市やコンベンション推進機関等において、コンベンション業務を担当する職員のうち、概ね実務経験3年未満の方
開催日時	平成29年5月23日（火） 研修会：14:00～17:30 意見交換会：18:00～19:00
開催場所	フクラシア東京ステーション
参加者	64名（自治体16名、推進機関31名、施設5名、旅行会社・ホテル等12名）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MICE誘致の現状とJNTOの取組みについて」 日本政府観光局（JNTO）コンベンション誘致部 次長 巽 麻里子</li> <li>・「国際会議の誘致。開催にあたって開催地に期待すること」 豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター教授 井佐原 均氏</li> <li>・「MICE誘致の意義と地域プロデューサーとしてのコンベンションビューローの役割」 札幌国際プラザ コンベンションビューロー担当部長 萩 麻里子氏</li> <li>・ディスカッション 「都市の強み・弱みを踏まえて国際会議を誘致しよう」</li> </ul>



井佐原教授



萩担当部長



ディスカッションの様子



# MICE人材の育成事業

## MICEセミナー <実務編> ※平成28年度実施

概要	世界で通用するMICE人材を育成するため、国際水準のノウハウを持つ海外講師を招請し、MICEの誘致・開催・マネジメント等に関する実践的な研修
対象	MICE関連業務に従事し、概ね3年以上の経験を有する方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語による意思疎通ができる方</li> <li>・ 2日間通して参加ができる方</li> <li>・ 受講にあたっては事前にアセスメントを実施</li> </ul>
実施期間	2017年2月9日（木）～10日（金）
会場	六本木アカデミーヒルズ
参加者	24名（推進機関10名、施設2名、ホテル2名、旅行会社・PCO等10名）
プログラム	<p>CMP試験に合格できるスキル獲得を目的として、MPIが英国リーズ・ペケット大学と共同で開発したプログラムを、2名のファシリテーターのもと、2日間（14時間）にわたり、講義、ケーススタディ紹介、演習および模擬テストを盛り込んだ参加型学習スタイルにより実施</p> <p>Day 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Professionalism in Meetings</li> <li>・ Managing Stakeholder Relationships</li> <li>・ Sustainability in Meetings</li> <li>・ Negotiation &amp; Project Management</li> <li>・ Financial Management</li> </ul> <p>Day 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hitting the Target</li> <li>・ Emergency Planning</li> <li>・ Meeting Design</li> <li>・ Site Planning &amp; Management</li> <li>・ Staff Event Planning</li> </ul>



## MICEセミナー <中級者対象>

名 称	JCCB人材育成委員会主催『次世代を担うMICE人材育成研修』（仮称）
概 要	MICE業界の次世代を担う中堅職員・社員を対象に、最新のMICE誘致・開催支援の成功事例の共有・情報交換、および組織運営に必要なマネジメント・スキル、人材育成ノウハウの養成を行い、団体の組織力の向上に資する。
対 象	組織・企業における5～10年目のプロパー職員・社員で、将来、各組織・企業の経営を担う人材
開催時期 (予定)	2018年2月に実施予定の「IME2018」に合わせて開催 1泊2日
開催場所 (予定)	JNTO会議室または研修施設
内 容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1日目： 観光庁・JNTOの取組み、MICE最新情報・成功事例等の共有</li> <li>○2日目： 組織運営・人材育成に関する講習（管理職・マネジメント研修）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割認識（マネジメントの役割、組織がマネジメントに求めていること）</li> <li>・戦略策定（組織の目的の確認、目的の実現に必要なこと、戦略の策定）</li> <li>・組織運営（組織のあり方、理想の組織を実現するための役割、ケーススタディ討議）</li> <li>・人材活用（部下を育成するポイント、部下育成の方法、ケーススタディ討議）</li> <li>・組織のコミュニケーション（伝える力、部下の考えを知る、情報共有の仕方）</li> <li>・組織の目標管理（組織の目標管理とは、目標が達成できない可能性、目標達成の方法）</li> <li>・組織の問題解決（問題を捉える、問題の解決策を定める、解決に向けた計画の策定）</li> <li>・モチベーションマネジメント（モチベーションの理解、部下のモチベーションの支援方法）</li> </ul> </li> </ul>